



えんだより

《 帰ってきた子どもたち 》

保護者の皆様には日頃より園へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて4月7日に緊急事態宣言が発出され約1か月半の間、登園した子どもたちは一日平均6～7人で本当に静まり返った保育園でした。こんな事になるなんて考えたこともありませんでした。5月25日に緊急事態宣言が解除され、子どもたちも徐々に戻ってきました。学校も6月1日から分散登校が始まり学童の元気な子どもたちに会えてホッとしました。今月からは保育園が通常保育に戻りました。まずは元気な子どもたちに会えて良かった。しかしコロナが収まったわけではありません。感染者は増えだしています。社会が動き出せばリスクはいやおうなしに高まります。第二・第三の波が押し寄せないとも限りません。しかし自粛を続ければ経済が破綻してしまうでしょう。通常に戻った保育生活の中で子どもたちの三密を避けるのは非常に困難です。職員も気を改め、これからが本当にコロナとの長い戦い（総理の言われた新しい生活様式・コロナの時代）が始まります。

先日、ノーベル賞学者の山中教授が言われていました。コロナウイルスはマスクを通す、しかしウイルスは唾液の中に入っているのでマスクが飛散を防ぎます。感染者との濃厚接触を知らせるアプリも出来たそうです。発症する2日前位から感染力が強まる、BCG ワクチン（結核予防）の接種が効いている・・・？ などまだまだわからないことが沢山あります。

感染者の中には発症しない人も沢山いると思われるので気付かないうちに自分が感染源になっていることの無いようマスクをするのがエチケットになりました。人と話すときは間をあけましょう。手で目・鼻・口を触るのは止めましょう。そして、手洗いの徹底に心掛けましょう。ワクチンが出来るまで気を引き締めて頑張りましょう。

新宿保育園 狩野 貢

【 保健室より 】

看護師 岡林菜央

6月になり蒸し暑さを感じる季節になりました。例年と異なり、マスクを着用しての日常生活になるため熱中症に十分注意していきましょう。子どもたちは、外気の温度に合わせて皮膚温の適応能力を養う必要があるため大人よりもやや薄着で過ごしていきましょう。

< 熱中症 >

マスク着用時は、外の冷えた空気を取り込むことができなくなり脳を感じる温度が高くなります。新鮮な空気から体内から体を冷却することができなくなるので、熱中症にかかりやすいと言われていています。以下の点に注意して、感染症・熱中症どちらも予防していきましょう。

- ・人と2m以上の距離が保てる場所ではマスクを外す
- ・のどが渇いていなくてもこまめな水分摂取をする
- ・子どもは大人よりも薄着を心がける
- ・環境省の暑さ指数（WBGT）を参考に活動する
- ・2歳以下はマスクの着用をしない

※暑さ指数（WBGT）
熱中症予防を目的とした指数です。
環境省のホームページから誰でも
閲覧が可能です。

例年とは大きく環境が変化しましたが、予防に気を付けて楽しい夏を過ごしましょう！



《保護者面談が始まります》
ひよこ・きりん・ぱんだ組
7月13日(月)～7月27日(金)

りす・うさぎ・こあら組
7月28日(火)～8月7日(金)

7月の行事 ひよこ組の健康診断日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	←		身体測定	週間	→	
12	13	14	15	16	17	18
	個人面談 ひよこ きりん ぱんだ	防災訓練	お誕生会 (各クラス)		7/27まで	
19	20	21	22	23	24	25
				海の日	スポーツ の日	
26	27	28	29	30	31	
		個人面談 りす うさぎ こあら			8/7まで	

『給食室より』

管理栄養士 菊本みづほ

まだまだ新型コロナウイルス感染の心配は残ってはおりますが、保育園の休園も終わり、子ども達の声で賑やかに遊ぶ声も聞こえ、日常が戻ってきています。

★給食の対策

密集や食事による飛沫感染を避ける為に、広場や一時保育室といったクラスルーム以外の部屋を最大限使用し、一部屋の食事人数を極力減らしています。又、向かい合わせでの食事は止め、一方を向くような配置にしています。始めた当初は味気ない食事となるかもしれない、という懸念もありましたが、子ども達はそんなシチュエーションをも楽しみ、賑やかな給食時間となっています。

★食育活動

野菜栽培は各クラスで規模を縮小しながらも始めています。うさぎ組のきゅうりは豊作で、クラスでは食べ切れず、給食のサラダに頂く日もある程です。幼児クラスのクッキングは、新型コロナウイルス感染の心配から出来ないものや制約も多々あり規模も縮小となりますが、子ども達が楽しめる様、工夫をして出来るだけ行っていきます。

★日本の郷土料理の日《山梨》・世界の国の料理の日《シンガポール》

5月の《山形》と《トルコ》を取り上げました。芋煮は秋の山形の風物詩ですが、名産の『さくらんぼ』の季節に合わせて6月に実施しました。主任仲島より幼児クラスには山形にまつわる話があり、子ども達の関心が高まった給食時間でした。トルコのサバサンドも興味深々で食べる姿がありました。7月は桃の季節に合わせて山梨、常夏の国ならではの冷菓があるシンガポールを取り上げます。山梨出身、及びシンガポールに住んでいた事のある保育者が幼児クラス中心にはなりますが、それぞれ子ども達に楽しい話をしてくれる予定です。